

# 1986年 大会記録

## 国際

**ジム・アームストロング国際大会 = フリースタイル (1月25~26日、豪州・ウォー**

### ロンコング)

48kg級 大橋正教(山梨学院大) = 優勝、 52kg級 久保政夫(日大) = 優勝、 57kg級 文田敏郎(山梨・峡北高教) = 3位、 62kg級 足立勝司(山梨学院大) = 3位、 68kg級 五位塚悟(山梨・葦崎工高教) = 4位、 74kg級 湯浅邦茂(山梨県スポーツ事業団)、 82kg級 安田紀久雄(山梨・葦崎工高教)、 90kg級 鋤崎直紀(山梨学院大) = 2位

**メドベジ国際大会 = フリースタイル (2月21~23日、ソ連・ミンスク)**

48kg級 沖山功(日体大) = 二失、 52kg級 金浜良(日大) = 二失、 57kg級 角地山豊(日大) = 二失、 62kg級 安達功(日体大) = 三失、 68kg級 五位塚悟(山梨・葦崎工高教) = 二失、 74kg級 角崎朋博(日体大) = 四失

**西ドイツ国際大会 = グレコローマン (3月22~23日、西ドイツ・フライブルグ)**

48kg級 蝦名康一(自衛隊) = 3位、 52kg級 大川秀和(奈良県教委) = 3位、 57kg級 中留俊司(日体大) = 三失、 62kg級 西口茂樹(日体大) = 三失、 68kg級 森巧(国士舘大) = 二失、 74kg級 小林希(日体大) = 二失、 82kg級 屋比久保(国士舘大) = 二失、 90kg級 東出徹(奈良県教委) = 二失、 100kg級 武藤光一(日体大) = 二失

**スーパーチャンピオンカップ = フリースタイル (4月29日、東京・代々木競技場第**

### 2体育館)

48kg級 入江隆(自衛隊) = 優勝、大橋正教(山梨学院大) = 3位、 52kg級 上島一敏(広木商事) = 3位、佐藤満(日体大大学院) = 3位、 57kg級 角地山豊(警視庁) = 3位、清藤直博(国士舘大) = 3位、 62kg級 五位塚悟(山梨・葦崎工高教) = 3位、井村陽三(静岡・沼津学園高教) = 3位、 68kg級 杉野浩吉(自衛隊) = 2位、原喜彦(日体大研) = 3位

フリースタイル4階級のみ実施

**コンコード国際大会 = グレコローマン (、米国・コンコード)**

48kg級 大橋正教(山梨学院大)、 52kg級 中森昭平(日体大)、 57kg級 山

元浩（日体大）、 62kg 級 足立勝治（山梨学院大）、 68kg 級 森太郎（日体大）、  
74kg 級 大拙守（明大）、 82kg 級 鋤崎直記（山梨学院大）、 90kg 級 鈴木和芳  
（専大）、 100kg 級 草野敦（国士館大）、 130kg 級 本間和吉（専大）

#### グッドウイル・ゲームズ（7月11～14日、ソ連・モスクワ）

2 敗

1 回戦 日本 [ 0 - 10 ] ソ連

2 回戦 日本 [ 2 - 8 ] モンゴル

《個人成績》 48kg 級 東野勝（大東大）= 2 敗、 52kg 級 金浜良（日大）= 2 敗、  
57kg 級 森下敏清（日体大）= 2 敗、 62kg 級 安達巧（日体大）= 4 位、 68kg 級  
五位塚悟（山梨・葎崎工高教）= 2 敗、 74kg 級 平山宣伸（日体大）= 2 敗、 82kg  
級 伊藤敦（日体大）= 4 位、 90kg 級 保坂竹道（自衛隊）= 2 敗、 100kg 級 本田  
多聞（自衛隊）= 2 敗、 130kg 級 浅井功（日体大）= 2 敗

#### 世界ジュニア選手権（7月16～ 日、西ドイツ・シフェルスタッド）

《フリースタイル》 48kg 級 関昌弘（群馬・館林高）= 四失、 52kg 級 清水光二  
（山形・山形商高）= 三失、 56kg 級 光武秀二（佐賀・鹿島実高）= 二失、 60kg 級  
清水賢一（山梨・葎崎工高）= 四失、 65kg 級 本間純二（秋田・秋田商高）= 四失、  
70kg 級 今村直樹（群馬・太田商高）= 三失、 75kg 級 早稻田礼文（長崎・島原高）  
= 三失、 81kg 級 松下文雄（佐賀・鹿島実）= 二失、 87kg 級 仁田昭彦（群馬・館  
林）= 二失、 87kg 以上級 滝田博幸（栃木・足利工大付）= 二失

《グレコローマン》 48kg 級 関島啓二（茨城・土浦日大高）= 二失、 52kg 級 石  
塚和行（千葉・八千代松蔭高）= 二失、 56kg 級 仁田聡寿（宮城・東北電子工高）= 二  
失、 60kg 級 今村浩之（群馬・関東学園高）= 三失、 65kg 級 三井真吾（千葉・八  
千代松蔭高）= 二失、 70kg 級 藤原光（大阪・高石高）= 二失、 75kg 級 村田憲司  
（東京・中大付高）= 四失、 81kg 級 永田裕志（千葉・成東高）= 二失、 87kg 級 野々  
村孝（岐阜・岐阜西高）= 三失、 87kg 以上級 = 派遣なし

#### エスポワール・ワールドカップ=フリースタイル（7月8～12日、カナダ・セント

#### ジョーンズ）

5 位（1 勝 4 敗）

1 回戦 日本 [ 0 - 10 ] ソ連

2 回戦 日本 [ 10 - 0 ] 豪州

3 回戦 日本 [ 2 - 8 ] 米国

4回戦 日本 [ 1 - 9 ] キューバ

5回戦 日本 [ 3 - 7 ] カナダ、

《個人順位》 48kg 級 猪狩清一（法大）= 3位、 52kg 級 兜森衛（東洋大）= 5位、 57kg 級 清藤直博（国土館大）= 4位、 62kg 級 戸崎素成（日体大）= 5位、 68kg 級 堀浩章（日体大）= 3位、 74kg 級 下玉利太（日大）= 5位、 82kg 級 向原英史（明大）= 5位、 90kg 級 間山泰範（日体大）= 5位、 100kg 級 中西学（専大）= 5位、 130kg 級 出口一也（国土館大）= 5位

#### 世界女子フェスティバル（7月19~20日、ベルギー・メチェレン）

《シニア》 52kg 級 荒川百合（ユナイテッドスタイル）、

《ジュニア》 44kg 級 吉村祥子（東京・成城学園高）、 48kg 級 大金孝子（栃木・馬頭高）、福田京子（松下電工）、 56kg 級 佐藤玲子（城西クラブ）、 60kg 級 高橋朋美（エドワーズ）、 65kg 級 加藤悦子（全日本女子プロレス）、 65kg 以上級 天田麗文（全日本女子プロレス）

《カデット》 56kg 級 遠藤美子（茨城・荳崎高）、 70kg 以上級 市川千秋（ボントン）

#### アジア大会（9月25日~10月4日、韓国・ソウル）

《フリースタイル》 48kg 級 入江隆（自衛隊）= 3位、 52kg 級 佐藤満（日体大学院）= 優勝、 57kg 級 朝倉利夫（国土大教）= 3位、 62kg 級 栄和人（奈良県教委）= 2位、 68kg 級 赤石光生（日大）= 2位、 74kg 級 角崎朋博（日体大）= 3位、 82kg 級 菊地隆（和歌山県教委）= 2位、 90kg 級 保坂竹道（自衛隊）= 5位、 100kg 級 本田多聞（自衛隊）= 7位、 130kg 級 猿田充（山梨・甲府西高教）= 4位

《グレコローマン》 48kg 級 斉藤育造（和歌山県教委）= 3位、 52kg 級 宮原厚次（自衛隊）= 優勝、 57kg 級 中留俊司（日体大）= 優勝、 62kg 級 長内清一（三八教育事務所）= 優勝、 68kg 級 森巧（国土大助）= 2位、 74kg 級 伊藤広道（自衛隊）= 3位、 82kg 級 向井孝博（自衛隊）= 2位、 90kg 級 森山泰年（自衛隊）= 優勝、 100kg 級 近藤務（自衛隊）= 3位、 130kg 級 安藤正哉（安藤コンクリート）= 2位

#### 世界選手権（10月19~26日、ハンガリー・ブダペスト）

《フリースタイル》 48kg 級 入江隆（自衛隊）= 8 位、 52kg 級 佐藤満（日体大大学院）= 2 位、 57kg 級 朝倉利夫（国土大教）= 三失、 62kg 級 栄和人（奈良県教委）= 4 位、 68kg 級 赤石光生（日大）= 7 位、 74kg 級 角崎朋博（日体大）= 7 位、 82kg 級 菊地隆（和歌山県教委）= 三失、 90kg 級 保坂竹道（自衛隊）= 二失、 100kg 級 本田多聞（自衛隊）= 10 位、 130kg 級 浅井功（日体大）= 8 位

《グレコローマン》 48kg 級 斉藤育造（和歌山県教委）= 8 位、 52kg 級 宮原厚次（自衛隊）= 3 位、 57kg 級 中留俊司（日体大）= 8 位、 62kg 級 長内清一（三八教育事務所）= 8 位、 68kg 級 森巧（国土大助）= 三失、 74kg 級 谷一郎（徳島・徳島工高教）= 二失、 82kg 級 = 派遣なし、 90kg 級 森山泰年（自衛隊）= 4 位、 100kg 級 近藤務（自衛隊）= 10 位、 130kg 級 = 派遣なし

#### ワールドカップ=グレコローマン（11月～15日、米国・オークラウンズ）

《個人順位》 48kg 級 大橋正教（山梨学院大）= 2 位、 52kg 級 藤波俊一（日体大）= 3 位、 57kg 級 中留俊司（日体大）= 5 位、 62kg 級 西口茂樹（日体大）= 5 位、 68kg 級 森巧（国土館大助）= 5 位、 74kg 級 湯浅邦茂（ ）= 5 位、 82kg 級 屋比久保（国土館大）= 5 位、 90kg 級 東出徹（奈良県教委）= 5 位、 100kg 級 = 派遣なし、 130kg 級 = 派遣なし

### 国内

#### 西ドイツ国際大会代表選考会=グレコローマン（2月11日、東京・青少年総合センター）

《優勝者》 48kg 級 蝦名康一（自衛隊）、 52kg 級 大川秀和（奈良県教委）、 57kg 級 中留俊司（日体大）、 62kg 級 西口茂樹（日体大）、 68kg 級 森巧（国土館大）、 74kg 級 小林希（日体大）、 82kg 級 屋比久保（国土館大）、 90kg 級 東出徹（奈良県教委）、 100kg 級 武藤光一（日体大）

#### 全国高校選抜大会（3月30～31日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 青森・光星学院高（6年連続7度目）、[2] 茨城・霞ヶ浦、[3] 群馬・館林、鹿児島・鹿児島商工

《個人戦優勝者》 48kg 級 関昌弘（群馬・館林）、 52kg 級 山崎節（茨城・霞ヶ浦）、 56kg 級 花田秀実（青森・光星学院）、 60kg 級 今村浩之（群馬・関東学園）、

65kg 級 本間純二(秋田・秋田商)、 70kg 級 石沢常光(青森・光星学院)、 75kg 級 津内口正(青森・光星学院)、 75kg 以上級 小幡弘之(埼玉・埼玉栄)

**スーパーチャンピオンカップ女子代表選考会(4月6日、東京・青少年総合センター)**

一)

52kg 級 福田京子(松下電工)、 59kg 級 佐藤玲子(城西クラブ)、 65kg 級 高橋朋美(エドワーズ)

**西日本学生春季新人戦 = フリースタイル( )**

《優勝者》 48kg 級 奥村幸治(徳山大)、 52kg 級 屋敷宗寿(同志社大)、 57kg 級 藤本佳和(同志社大)、 62kg 級 土橋啓之(近大)、 68kg 級 村上勉(桃山学院大)、 74kg 級 内山一栄(同志社大)、 82kg 級 岩本昭宏(福岡大)、 90kg 級 永井孝治(近大)

フリースタイルのみ

**世界ジュニア選手権代表選考会(5月5～6日、東京・青少年総合センター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 関昌弘(群馬・館林高)、 52kg 級 清水光二(山形・山形商高)、 56kg 級 花田秀実(青森・光星学院高)、 60kg 級 清水賢一(山梨・韮崎工高)、 65kg 級 本間純二(秋田・秋田商高)、 70kg 級 石沢常光(青森・光星学院高)、 75kg 級 津内口隆(青森・光星学院高)、 81kg 級 松下文雄(佐賀・鹿島実)、 87kg 級 仁田昭彦(群馬・館林)、 87kg 以上級 滝田博幸(栃木・足利工大付)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 関島啓二(茨城・土浦日大高)、 52kg 級 石塚和行(千葉・八千代松蔭高)、 56kg 級 仁田聡寿(宮城・東北電子工高)、 60kg 級 今村浩之(群馬・関東学園高)、 65kg 級 三井真吾(千葉・八千代松蔭高)、 70kg 級 藤原光(大阪・高石高)、 75kg 級 村田憲司(東京・中大付高)、 81kg 級 永田裕志(千葉・成東高)、 87kg 級 野々村孝(岐阜・岐阜西高)、 87kg 以上級 神子沢健一(青森・光星学院高)

**東日本学生リーグ戦(5月14～16日、東京・駒沢体育館)**

《順位》[1]日体大(8年連続10度目)、[2]日大

(A組)[1]日体大、[2]中大、[3]専大、[4]東洋大、[5]東海大、[6]拓大

(B組)[1]日大、[2]国士大、[3]山梨学院大、[4]大東大、[5]明大、[6]法大

**西日本学生選手権（5月16～19日、大阪・臨海スポーツセンター）**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 是永順次（福岡大）、 52kg 級 西川知志（同志社大）、 57kg 級 仮屋広和（徳山大）、 62kg 級 大河内幸保（福岡大）、 68kg 級 奥山泰司（桃山学院大）、 74kg 級 原田芳生（徳山大）、 82kg 級 恒川寿生（同志社大）、 90kg 級 笹部文男（福岡大）

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 是永順次（福岡大）、 52kg 級 釘持俊昭（近大）、 57kg 級 仮屋広和（徳山大）、 62kg 級 小島直人（徳山大）、 68kg 級 内山一栄（同志社大）、 74kg 級 原田芳生（徳山大）、 82kg 級 恒川寿生（同志社大）、 90kg 級 芳村昌秀（同志社大）

**エスポワール・ワールドカップ代表選考会＝フリースタイル（6月2日、東京・青少年総合センター）**

《優勝者》 48kg 級 猪狩清一（法大）、 52kg 級 兜森衛（東洋大）、 57kg 級 清藤直博（国士舘大）、 62kg 級 戸崎素成（日体大）、 68kg 級 堀浩章（日体大）、 74kg 級 下玉利太（日大）、 82kg 級 向原英史（明大）、 90kg 級 間山泰範（日体大）、 100kg 級 中西学（専大）、 130kg 級 出口一也（国士舘大）

**全日本社会人選手権（6月7～8日、東京・駒沢体育館）**

《団体戦優勝チーム》 官公庁 自衛隊、 実業団 アイシン精機、 クラブ 奈良クラブ

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 小林孝至（日大ク）、 52kg 級 藤川健治（自衛隊）、 57kg 級 角地山豊（警視庁）、 62kg 級 五十嵐淳一（自衛隊）、 68kg 級 原善彦（日体大研）、 74kg 級 佐川正吉（自衛隊）、 82kg 級 安田紀久雄（山梨ク）、 90kg 級 赤石明雄（山梨ク）、 100kg 級 堀正浩（本田技研）、 130kg 級 鈴木光（ユナイテッド・スチール）

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 = 出場なし、 52kg 級 一色啓雅（和歌山県協会）、 57kg 級 黒飛健（自衛隊）、 62kg 級 大城利幸（自衛隊）、 68kg 級 森巧（国士舘大助）、 74kg 級 伊藤広道（自衛隊）、 82kg 級 屋比久保（沖縄県協会）、 90kg 級 東出徹（奈良ク）、 100kg 級 近藤務（自衛隊）、 130kg 級 藤森安一（警視庁）

**東日本学生春季新人戦（6月19～21日、東京・駒沢体育館）**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 坂木勇夫（専大）、 52kg 級 伯川強（専大）、

57kg 級 佐々木一郎(日体大)、 62kg 級 嶺岸武(日体大)、 68kg 級 安達巧(日体大)、 74kg 級 得本啓次(日体大)、 82kg 級 向原英史(明大)、 90kg 級 竹沢新吾(明大)、 90kg 以上級 出口一也(国士館大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 坂木勇夫(専大)、 52kg 級 細見雅樹(山梨学院大)、 57kg 級 藤岡道三(日体大)、 62kg 級 嶺岸武(日体大)、 68kg 級 堀浩幸(日体大)、 74kg 級 田崎光幸(国士館大)、 82kg 級 浅沼俊幸(国士館大)、 90kg 級 竹沢新吾(明大)、 90kg 以上級 鋤崎太(山梨学院大)

#### **西日本学生春季リーグ戦(6月20~22日、大阪・臨海スポーツセンター)**

《順位》[1]福岡大(7季ぶり12度目)、[2]同志社大、[3]徳山大、[4]近大、[5]名商大、[6]桃山学院大

#### **世界女子フェスティバル代表選考会(6月21日、東京・青少年総合センター)**

《優勝者》 44kg 級 吉村祥子(東京・成城学園高)、 48kg 級 大金孝子(栃木・馬頭高)、 52kg 級 荒川百合(ユナイテッドスティール)、 56kg 級 佐藤玲子(城西クラブ)、 60kg 級 高橋朋美(エドワーズ)、 65kg 級 加藤悦子(全日本女子プロレス)、 70kg 級 天田麗文(全日本女子プロレス)、 70kg 以上級 市川千秋(ボントン)

#### **全日本選手権(6月27~29日、東京・駒沢体育館)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 入江隆(自衛隊)、 52kg 級 佐藤満(日体大大学院)、 57kg 級 朝倉利夫(国士大教)、 62kg 級 栄和人(奈良県教委)、 68kg 級 赤石光生(日大)、 74kg 級 角崎朋博(日体大)、 82kg 級 菊地隆(和歌山県教委)、 90kg 級 保坂竹道(自衛隊)、 100kg 級 本田多聞(自衛隊)、 130kg 級 谷津嘉章(ジャパン・プロレス)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 斉藤育造(和歌山県教委)、 52kg 級 宮原厚次(自衛隊)、 57kg 級 中留俊司(日体大)、 62kg 級 長内清一(三八教育事務所)、 68kg 級 森巧(国士大教)、 74kg 級 谷一郎(徳島・徳島工高教)、 82kg 級 向井孝博(自衛隊)、 90kg 級 森山泰年(自衛隊)、 100kg 級 近藤務(自衛隊)、 130kg 級 安藤正哉(安藤コンクリート)

#### **インターハイ(8月2~5日、岡山・鴨方町)**

《学校対抗戦》[1]茨城・霞ヶ浦(初)、[2]青森・光星学院、[3]群馬・館林、鹿児島・鹿児島商工

《個人戦優勝者》 48kg 級 山下忍(茨城・霞ヶ浦)、 52kg 級 山崎節(茨城・霞ヶ浦)、 56kg 級 花田秀実(青森・光星学院)、 60kg 級 奥山恵二(茨城・霞ヶ浦)、 65kg 級 太田拓弥(茨城・霞ヶ浦)、 70kg 級 寺沢淳(茨城・霞ヶ浦)、 75kg 級 井筒忍(茨城・霞ヶ浦)、 75kg 以上級 小幡弘之(埼玉・埼玉栄)

**全日本学生選手権(8月28~31日、大阪府立臨海スポーツセンター)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 喜多龍昭(日体大)、 52kg 級 金浜良(日大)、 57kg 級 森下敏清(日体大)、 62kg 級 安達巧(日体大)、 68kg 級 赤石光生(日大)、 74kg 級 角崎朋博(日体大)、 82kg 級 伊藤敦(日体大)、 90kg 級 鈴木和芳(専大)、 100kg 級 菊地毅(大東大)、 130kg 級 浅井功(日体大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 大橋正教(山梨学院大)、 52kg 級 藤波俊一(日体大)、 57kg 級 近浦淳二(日大)、 62kg 級 西口茂樹(日体大)、 68kg 級 有延伸一(国土館大)、 74kg 級 大拙守(明大)、 82kg 級 小林希(日体大)、 90kg 級 武藤光一(日体大)、 100kg 級 草野敦(国土館大)、 130kg 級 奈良英則(日大)

**全国高校生グレコローマン選手権(9月14~15日、東京・青少年総合センター)**

《優勝者》 48kg 級 佐藤貢(秋田・秋田商)、 52kg 級 田川直樹(神奈川・湘南)、 56kg 級 大沢陽太(茨城・霞ヶ浦)、 60kg 級 鈴木信行(秋田・秋田商)、 65kg 級 今村浩之(群馬・関東学園)、 70kg 級 伊藤強(秋田・秋田商)、 75kg 級 今村直樹(群馬・太田商)、 81kg 級 村田憲司(東京・中大付)、 87kg 級 加藤一広(栃木・宇都宮商)、 87kg 以上級 宮崎久(茨城・霞ヶ浦)

**西日本学生新人戦(9月14~15日、大阪・桃山学院大)**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 松本励二(関学大)、 52kg 級 小川平二(同志社大)、 57kg 級 辻久信(近大)、 62kg 級 伊礼伸幸(南九州大)、 68kg 級 柳本和紀(同志社大)、 74kg 級 村上勉(桃山学院大)、 82kg 級 内山一栄(同志社大)、 90kg 級 永井孝治(近大)

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 是永順次(福岡大)、 52kg 級 小川平二(同志社大)、 57kg 級 馬場大(大体大)、 62kg 級 伊礼伸幸(南九州大)、 68kg 級 谷口英和(近大)、 74kg 級 内山一栄(同志社大)、 82kg 級 西澤憲彦(同志社大)、 90kg 級 河内義雄(大体大)



**全日本学生王座決定戦（9月26～27日、東京・駒沢体育館）= 決勝成績**

日体大 [ 6 - 3 ] 国士館大

日体大は9年連続10度目の優勝

**国体（10月13～16日、山梨・高根町民体育館、須玉総合町民体育館）**

《成年フリースタイル優勝者》 48kg 級 小林孝至(茨城・ユナイテッドスティール)、  
52kg 級 清水清人(宮崎・日南高教)、 57kg 級 角地山豊(東京・警視庁)、 62kg  
級 安達巧(鹿児島・日体大)、 68kg 級 五位塚悟(山梨・葎崎工高教)、 74kg 級  
樋口直巳(三重・桑名工高教)、 82kg 級 安田紀久夫(山梨・葎崎工高教)、 90kg  
級 赤石明雄(山梨・県教委)、 100kg 級 千葉裕司(神奈川・横須賀工高教)、 130kg  
級 石井信也(神奈川・厚木高教)

《成年グレコローマン優勝者》 48kg 級 大橋正教(山梨・山梨学院大)、 52kg 級  
藤波俊一(三重・日体大)、 57kg 級 三宅正徳(岐阜・大垣養護学教)、 62kg 級 出  
口泰三(和歌山・県教育庁)、 68kg 級 大久保康裕(埼玉・自衛隊)、 74kg 級 伊  
藤広道(埼玉・自衛隊)、 82kg 級 福岡浩一(宮崎・宮崎一高教)、 90kg 級 森山  
泰年(埼玉・自衛隊)、 100kg 級 福辺雅彦(奈良・橿原会館)、 130kg 級 安藤正  
哉(岐阜・安藤コンクリート)

《少年フリースタイル優勝者》 48kg 級 山下忍(茨城・霞ヶ浦)、 52kg 級 山崎  
節(茨城・霞ヶ浦)、 56kg 級 花田秀実(青森・光星学院)、 60kg 級 奥山恵二(茨  
城・霞ヶ浦)、 65kg 級 太田拓弥(茨城・霞ヶ浦)、 70kg 級 石沢常光(青森・光  
星学院)、 75kg 級 津内口隆(青森・光星学院)、 81kg 級 高橋和生(千葉・八千  
代松陰)、 87kg 級 安楽純二(大阪・茨田)、 87kg 以上級 小幡弘之(埼玉・埼玉  
栄)

《少年グレコローマン優勝者》 48kg 級 佐藤貢(秋田・秋田商)、 52kg 級 清水  
光二(山形・山形商)、 56kg 級 福永等(岐阜・各務原)、 60kg 級 大塚量哉(岐  
阜・岐阜工)、 65kg 級 今村浩之(群馬・関東学園)、 70kg 級 石川宏明(埼玉・  
埼玉栄)、 75kg 級 今村直樹(群馬・太田商)、 81kg 級 横森昌和(山梨・葎崎工)、  
87kg 級 野々村孝(岐阜・岐阜西工)、 87kg 以上級 神子沢健二(青森・光星学院)

**東日本学生グレコローマン対抗戦（10月18日、東京・駒沢体育館）**

国士館大 [ 5 - 4 ] 日体大

**東日本学生秋季新人戦（10月30日～11月2日、東京・駒沢体育館）**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 佐藤誠（国土館大）、 52kg 級 飯田泰次（中大）、 57kg 級 金浜良（日大）、 62kg 級 戸崎素成（日体大）、 68kg 級 木村孝弘（早大）、 74kg 級 田崎光弘（国土館大）、 82kg 級 関川清人（日大）、 90kg 級 浅沼俊幸（国土館大）、 90kg 以上級 鋤崎太（山梨学院大）

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 笠原吉晴（東洋大）、 52kg 級 伯川強（専大）、 57kg 級 金浜良（日大）、 62kg 級 竹下敬（日体大）、 68kg 級 新垣博孝（明大）、 74kg 級 得本啓次（日体大）、 82kg 級 小林希（日体大）、 90kg 級 伊田忠富（東海大）、 90kg 以上級 竹沢新吾（明大）

**西日本学生秋季リーグ戦（11月21～23日、大阪・臨海スポーツセンター）**

《順位》[1]福岡大（2季連続13度目）、[2]同志社大、[3]徳山大、[4]、[5]、[6]

**全国社会人オープン選手権（11月22～23日、神奈川・横浜市消防訓練センター）**

《フリースタイル優勝者》 48kg 級 笹山秀雄（青森・光星学院高OB）、 52kg 級 蝦名康一（自衛隊）、 57kg 級 佐藤満（日体大クラブ）、 62kg 級 五十嵐淳一（自衛隊）、 68kg 級 原喜彦（日体大クラブ）、 74kg 級 平山宣伸（日体大クラブ）、 82kg 級 安田紀久雄（山梨クラブ）、 90kg 級 赤石明雄（山梨クラブ）、 100kg 級 堀正治（本田技研鈴鹿）、 130kg 級 大川浩一（警視庁）

《グレコローマン優勝者》 48kg 級 矢作章（ユナイテッドスティール）、 52kg 級 蝦名康一（自衛隊）、 57kg 級 河本勲（自衛隊）、 62kg 級 大城利幸（自衛隊）、 68kg 級 三宅靖志（東海商船）、 74kg 級 作田勝広（自衛隊）、 82kg 級 安田紀久雄（山梨クラブ）、 90kg 級 赤石明雄（山梨クラブ）、 100kg 級 鈴木寛（本田技研鈴鹿）、 130kg 級 大川浩一（警視庁）

**全日本大学選手権（11月29～30日、東京・駒沢屋内球技場）**

《優勝者》 48kg 級 大橋正教（山梨学院大）、 52kg 級 沖山功（日体大）、 57kg 級 森下敏清（日体大）、 62kg 級 安達巧（日体大）、 68kg 級 赤石光生（日大）、 74kg 級 角崎朋博（日体大）、 82kg 級 伊藤敦（日体大）、 90kg 級 坂野下喜三（日大）、 100kg 級 武藤光一（日体大）、 130kg 級 浅井功（日体大）

《大学対抗得点》[1]日体大（2年連続9度目）、[2]日大、[3]国土館大